

平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果と今後の取組について

糸島市立前原小学校

1 結果と分析

(1) 全国学力・学習状況調査

【国語A（基礎）】

- 主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く力が身に付いている。
- 日常生活で使われている慣用句の意味を理解し、使う力が身に付いている。
- 物語を書くときの構成の工夫を捉えることに課題がある。

【国語B（発展）】

- 複数の文章から、説明として適切なものを選択することに課題がある。
- 文章の内容を的確に捉え、自分の考えを明確にしながら読むこと、また最も心がひかれた一文とその理由を書くことに課題がある。

【算数A（基礎）】

- 小数や分数についての計算力が身に付いている。
- 円周率の意味理解や直径の長さや円周の長さの関係について課題がある。

【算数B（発展）】

- 敷き詰められた模様から、条件に合う図形を見いだすことに課題がある。
- 図形の構成要素や性質の理解に課題がある。

【理 科】

- 流れる水の働きを表す言葉の理解ができています。
- 乾電池のつなぎ方や電流の向きと大きさについての理解に課題がある。
- 調べた結果について、問題に対応した視点で考察することに課題がある。

2 取組についての評価

(1) 効果があった取組

- ・ 算数科の重点単元における少人数指導の実施
- ・ 全校での話し方・聞き方名人の取組

(2) 改善を図る点

- ・ 条件に合わせて記述できるよう、「書く活動」を意図的に取り入れる。
- ・ 前後のつながりを意識して接続語を使って話せるよう、日常的に指導する。
- ・ 国語、算数での定着が不十分だった内容の重点指導

(3) 今後の学力、学習習慣の向上に対する取組

- ・ 表現や交流活動を位置づけた授業づくり
- ・ 高学年の算数の習熟の時間に、全職員で関わるまえばる寺子屋の実施
- ・ 活用力を育てる問題を学習に取り入れる。